

山形県立山形盲学校 中学部 1年 国語

アンケートの結果をもとにレポートをまとめよう



日時：令和6年10月18日（金）9：50～10：40
 場所：中1教室
 対象：中学部1年 2名
 授業者：高橋拓 教諭

1 主に活用した機器・コンテンツ

- ・一人一台タブレット (iPad)
- ・教科書 (UD ブラウザ) 用タブレット (iPad)
- ・Apple TV
- ・液晶モニター50型
- ・Google ドライブ
- ・Google ドキュメント
- ・学校貸し出しノートパソコン
- ・スクリーンリーダー PC-Talker
- ・Word

2 授業

(1) 本時の目標

ICT 機器を活用して、情報を得るためのアンケートやレポートを作成する。

(2) 指導過程

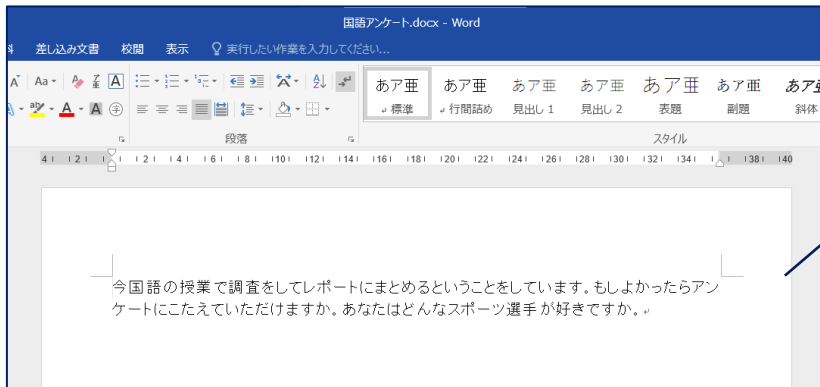
時間※ ¹	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器 コンテンツ	情報活用能力※ ²
導入	●課題の提示 知りたい情報を得るためのアンケートとレポートのまとめを作成する。	○レポートの形式を教科書の例を読み確認する。	・教科書 (UD ブラウザ) 用タブレット (iPad)	A 2 ① f ステップ 1 情報の大体を捉える方法
展開	●アンケートの作成 ●レポートのまとめの一部作成	<p>○ICT 活用ポイント1 点字使用の生徒が、墨字使用の生徒や職員に伝わるように、文章内容や漢字変換が適切かどうか確かめながら、墨字のアンケートを作成する。</p> <p>○ICT 活用ポイント2 弱視の生徒が、文章内容や漢字変換が適切かどうか確かめながら、レポートのまとめの最初の項目を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台タブレット (iPad) ・ノートパソコン ・Google ドライブ ・Google ドキュメント ・Word 	A 1 ① a ステップ 3 キーボードなどによる文字の正確な入力
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ●活動の振り返り できたことや難しかったことを確認する。 ●今後の学習活動の流れの確認 			

3 ICT 活用ポイント

ICT 活用ポイント1 **B1** 個に応じた学習 **C3** 協働制作

点字使用の生徒が、墨字使用の生徒や職員に伝わるように、文章内容や漢字変換が適切かどうか確かめながら、墨字のアンケートを作成する。

- (1) 点字使用の生徒が、スクリーンリーダーをインストールしたノートパソコンを使用し、Word で墨字のアンケートを作成する。
- (2) 前時までのノートのメモを振り返り、言葉や漢字が正しく入力されているかスクリーンリーダーを聞いて自分で内容を確認しながら文章を作成する。
- (3) 変換しようとしている漢字が正しいかどうか、教師に確認しながら文章を入力する。
- (4) 作成した文章を、墨字使用の生徒に確認してもらい、誤った箇所を修正する。

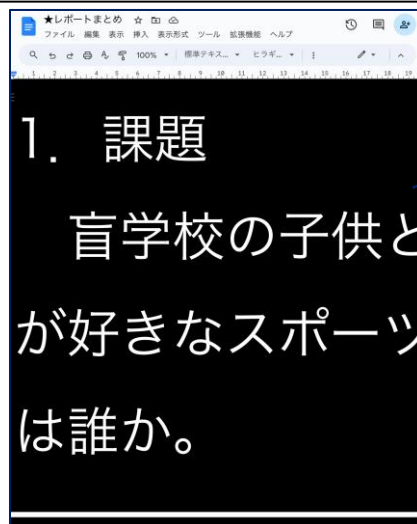


生徒同士で確認し、修正した後の Word 文章。

ICT 活用ポイント2 **B1** 個に応じた学習

弱視の生徒が、文章内容や漢字変換が適切かどうか確かめながら、レポートのまとめの最初の項目を作成する。

- (1) Google ドライブで、あらかじめ教師が作成した Google ドキュメントを共有し、そのデータを生徒が編集する。
- (2) Google ドキュメントの文章は、生徒が読めるフォントサイズで提示する。また、ローマ字入力を習得していないため、かな入力ができるように iPad のキーボード表示の設定を生徒と確認する。
- (3) 前時までのノートのメモを振り返りながら、レポートの形式に沿って文章を入力する。
- (4) 漢字がわからなくても、予測変換から該当する漢字を選択して入力する。わからなければ教師に確認しながら漢字を確かめる。



Google ドキュメント

「1. 課題」は教師が事前に入力して提示。(今回は 72pt、黒地に白文字)。

以下の文章は生徒が入力。

4 活用の成果

- ・生徒が書く墨字や点字よりも、ICTの方が文章を簡単に修正できる利点を生かしながら、意欲的に資料を作成することができた。
- ・墨字使用の生徒が苦手としている漢字を、予測変換から正しく選んで文章を作成することができた。
- ・墨字使用の生徒が漢字やカタカナの変換ミスを伝え、点字使用の生徒が一度入力した文章を修正し、確認し合うことができた。